

5 重点化対象事業等

「住みたいまち、住み続けたいまち目黒」の実現を目指して、次の4つを緊急かつ積極的に取り組むべき事項を重要課題として決めました。これらの重要課題に沿って、実施計画以外でも重点的に予算化して推進すべき事業に財源を集中的に配分し、メリハリの利いた予算編成を行いました。

(4つの重要課題)	
1 区民の安全・安心の確保	289,263 千円
2 少子高齢社会への対応	501,188 千円
3 環境問題への取組み	237,025 千円
4 地域特性を生かした目黒らしさのある取組み	213,480 千円
合 計	1,240,956 千円

また、その他の主な新規・臨時経費についても、目黒区基本計画を踏まえた施策体系に沿って、以下のとおり分類・整理し、予算編成を行いました。

(7つの施策体系)	
1 教育文化	1,049,590 千円
2 健康福祉	2,977,042 千円
3 産業経済	922,098 千円
4 都市整備	5,161,008 千円
5 環境対策	87,524 千円
6 区民生活	37,091 千円
7 行政運営	452,021 千円
合 計	10,686,374 千円

重要課題（1）区民の安全・安心の確保

私立幼稚園における安全・安心の確保 660万円

子育て支援部 / 子育て支援課

私立幼稚園の安全安心確保のため、防犯カメラの設置・インターフォンの整備など安全対策に関する経費を補助します。

消防団へのAED支給 251万円

危機管理室 / 防災課

消防団は地域の住民等で組織され、火災や災害時から区民の生命財産を守るため日夜活動しています。区では消防団の活動を支援するため、心肺停止の応急救護に効果的なAEDを全分団（12分団）に小児用パッドとあわせて支給します。

生活安全パトロール車両へのAEDの整備 84万円

危機管理室 / 防災課

生活安全パトロール車両は、平成19年度から24時間体制で区内を巡回しています。このパトロール車両4台にAED本体と小児用パッドを整備します。

区立小中学校等へのAED配置 1,226万円

教育委員会 / 企画調整課

心停止（心室細動）への応急救護手段として有効なAEDを、小児用の電極パッドとともに区立小中学校等に配置し、児童生徒や学校を利用する区民の応急救護体制の充実を図ります。



介護サービス事業者の質の向上

73万円

健康福祉部 / 介護保険課

ケアマネジャーの質の一層の向上を図り、ケアマネジメントの中立・公平性を維持するため、ケアマネジャーに対して実務経験年数別の研修を実施します。

新型インフルエンザ対策

1,054万円

健康推進部 / 保健予防課

発生時における感染拡大・被害を最小限に抑えるため、地域の医療関係者等と医療体制を協議する委員会を設置します。また、発熱センターで使用する陰圧テントや防護服等を整備します。



通所施設利用促進等助成

2,331万円

健康福祉部 / 障害福祉課

通所施設利用者の負担を軽減するとともに通所施設の利用を促進するため、通所施設利用者に対して助成します。(児童デイサービス以外は19・20年度の激変緩和措置)

高次脳機能障害者支援促進

410万円

健康福祉部 / 障害福祉課

高次脳機能障害者に対する相談や日中活動などの支援事業をNPO法人等に委託して実施します。

福祉工房工賃水準の向上 5 2 5 万円

健康福祉部 / 障害福祉課

福祉工房で働く障害者の工賃水準を上げるため、福祉工房と企業との仲介を行う事業を立ち上げ、区内企業からの受注業務や自主製品の販売ルートの拡大に取り組みます。

職員の応急救護等の実施 2 5 万円

環境清掃部 / 清掃事務所

清掃事務所職員が、ごみ収集中に事故や火災を発見した際に初期活動を行える体制整備のため、応急救護講習等を実施します。

住宅用火災警報器の無償設置 4 , 7 5 3 万円

危機管理室 / 防災課

東京都の火災予防条例の改正に伴い、既存の住宅に住宅用火災警報器の設置が平成 22 年 4 月から義務付けられます。区では、全員が 65 歳以上の世帯、障害者のかたがいたる世帯に対して、1 世帯 1 台の住宅用火災警報器の無償設置を行います。

(☞52 ページ)

分譲マンション等の実態調査 1 , 0 0 6 万円

都市整備部 / 住宅課

マンションの建替え、改修、耐震補強などの支援策検討資料として活用するため、区内の分譲マンション等にアンケート調査やヒアリングを行い、実態を把握します。

水防対策の強化 2 1 万円

都市整備部 / 土木工事課

土のう保管場所を整備します。

応急対策用備蓄物資等の整備（食糧品等の整備） 1,153万円

危機管理室 / 防災課

災害時要援護者用食糧（雑炊）、被災者用下着セット、発災時職員用食糧（水・ビスケット・アルファ米）を備蓄目標量に基づき整備します。

応急対策用備蓄物資等の整備（資機材等の整備） 1,367万円

危機管理室 / 防災課

災害時用マット、避難所仕切板、衛生管理用備蓄品（消毒剤）などの充実・整備、老朽化（炊飯機・発電機）や期限切れの備蓄品の順次入替え等を行います。

生活安全パトロール委託の充実・強化 1億1,917万円

危機管理室 / 生活安全課

青色回転灯を装備した生活安全パトロールの充実・強化を図るため、フルタイム2名乗車とし、引き続き24時間365日生活安全パトロールをします。また、夜間帯については、2車両から3車両による警戒へと強化します。



外国人向けラジオ放送の実施（災害情報体制の整備） 425万円

企画経営部 / 広報課

外国人向け放送（インターFM）により外国人向けに災害時には緊急情報、通常時には生活情報を提供します。

緊急地震速報システムの整備

1,645万円

危機管理室 / 防災課

気象庁から発信される緊急地震速報の情報を活用し、平成 20 年 1 月から区独自に区民に伝達するシステムを防災無線塔と一部の区施設に整備しました。平成 20 年度は、さらに学校等に導入します。

重要課題(2) 少子高齢社会への対応

妊婦健康診査の拡充

6,760万円

健康推進部 / 目黒保健センター

健康診査の助成回数を 2 回から 14 回に拡充します。超音波検査年齢制限の撤廃し、すべての妊婦/に 1 回助成します。また、里帰り等で契約医療機関外で受診した妊婦健康診査費用について一部助成を開始します。



私立幼稚園入園料補助の充実

1,100万円

子育て支援部 / 子育て支援課

入園料補助金を引き上げ、保護者負担の軽減を図ります。

私立幼稚園心身障害児教育事業費補助の充実

300万円

子育て支援部 / 子育て支援課

心身障害児の就園に伴う私立幼稚園の運営費補助を引き上げ、園の負担を軽減することにより、心身障害児教育の更なる充実を図ります。

放課後フリークラブの拡充

1,653万円

教育委員会 / 地域学習課

子どもが帰宅しなくても校庭で遊べる「ランドセルひろば」を小学校7校、学校・PTA・地域などが連携し実施する「子ども教室」を小学校3校区で追加実施します。



「めぐろ子ども・子育てネット - みんなで育てるまち -」の運営

409万円

子育て支援部 / 子ども政策課

子どもと大人のワークショップの開催など区民参加型の「子どもと子育てのまちづくりサイト」を運営します。

子育て情報の発信・情報交換等の拠点として新鮮かつ充実した情報の提供を行い魅力ある満足できるサイトの運営を行います。



子ども対象の伝統文化事業の充実

9 2 万円

教育委員会 / 地域学習課

子どもたちに日本の伝統文化に触れる機会を提供するため、夏休みいけ花・茶の湯スクール、夏休み子ども将棋教室、夏休み子ども囲碁教室を実施します。



学校運営協議会制度の導入

3 4 3 万円

教育委員会 / 教育改革推進課

保護者や地域住民の意見を直接学校運営に反映し、信頼される学校づくりをさらに進めるために、学校運営協議会制度をモデル校に導入します。

家庭教育の啓発

5 6 万円

教育委員会 / 地域学習課

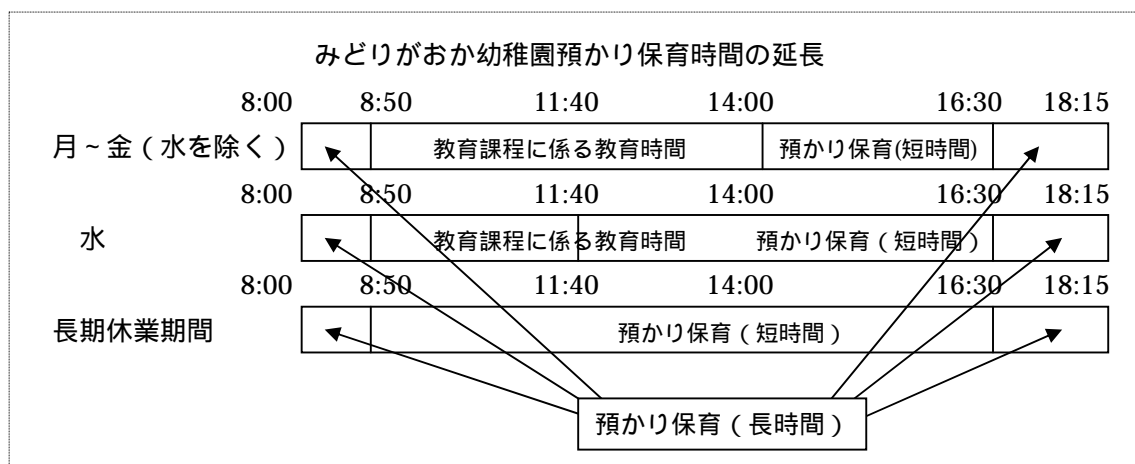
区民に対する家庭教育啓発のため、講演会を実施します。

預かり保育の充実

4 8 4 万円

教育委員会 / 学務課

みどりがおか幼稚園で、預かり保育の時間延長及び在園児の一時預かり保育を実施します。



健康教育の推進

391万円

教育委員会 / 学務課

平成20年度から、より積極的な健康教育を先行実施する健康教育推進校2校を選定し、健康課題を抱える児童の把握や校内の組織化、児童の生活習慣病予防検診の実施などに取り組みます。

めぐろ学校サポートセンターの開設

1億5,761万円

教育委員会 / めぐろ学校サポートセンター

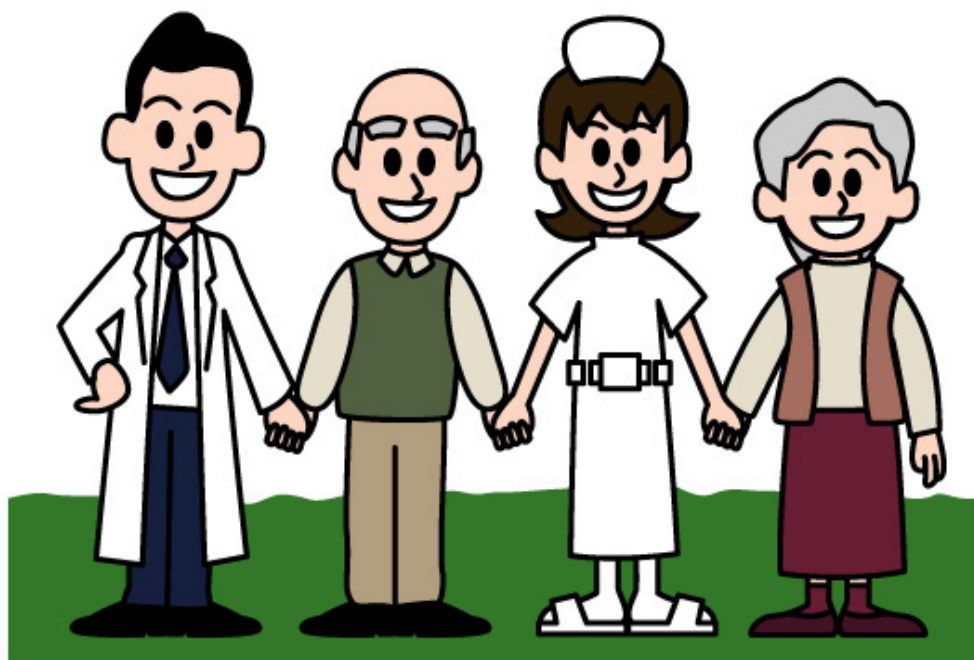
めぐろ学校教育プランが掲げる「魅力と活力にあふれ、信頼される学校」の実現を目指し、平成20年4月1日から「めぐろ学校サポートセンター」を開設します。当初は、旧守屋教育会館をそのまま使用しますが、7月1日からは旧第二中学校を改修した新施設に移転し、3つのサポート機能（教職員サポート 学習・相談サポート 個別サポート）により学校を支援します。

特定健診・特定保健指導事業の実施

1億8,335万円

区民生活部 / 国保年金課

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき国民健康保険加入者に対し糖尿病等の生活習慣病に関する健康診査及び保健指導を実施します。



成年後見制度推進機関運営への助成

4 1 4 万円

健康福祉部 / 健康福祉計画課

社会福祉協議会（権利擁護センター）で実施している成年後見制度推進機関の相談事業などの業務量増加に対応するための人件費を補助します。

地域支援事業（包括的支援事業）の実施

4 , 0 2 3 万円

健康福祉部 / 包括支援調整課

高齢者虐待防止の推進

高齢者虐待防止についての講演会・研修会を開催するとともに、虐待防止マニュアルの作成、事例検討会の実施、関係機関連絡会の設置などにより対応体制を整備します。

認知症対策の推進

認知症の理解促進のため講演会や認知症サポーター養成講座（出前講座等）を開催するとともに、家族会への支援などを実施します。

地域包括ケア推進のための組織体制の整備

21 年 4 月に、現行の保健福祉サービス事務所の業務を整理のうえ、地域包括支援センターと統合して新たな地区保健福祉施設を開設するため、準備を進めます。

重要課題（3）環境問題への取組み

目黒川の環境改善（目黒川の臭気対策）

5 , 5 5 8 万円

都市整備部 / 土木工事課

目黒川の河床をならし、土砂の堆積を防止するとともに、堆積した土砂の処分をします。また、目黒川の清掃の対象範囲を拡大し、回数を増やして実施します。



みどりのまちなみ賞の実施

4 8 万円

都市整備部 / みどりと公園課

区民、事業者のみどりに対するより一層の意識の向上や、みどりの量に加え、質の高いみどりの推進を目的として、区内の民有地で新たにつくられたみどりを活かした施設について、特に優れたものを表彰します。



低公害車の導入

4 5 2 万円

総務部 / 総務課

環境負荷の低減を図るため、老朽化した集中管理車 2 台をハイブリッドカーに買替えます。

サンクスネイチャーバスを走らす会との協働事業

6 5 万円

環境清掃部 / 環境保全課

自由が丘で循環エコバスを運営している「サンクスネイチャーバスを走らす会」と協働で環境に負荷の少ないライフスタイルに関するシンポジウムを開催するなど、個人が取り組める省エネ、エコライフの啓発を行います。

総合庁舎駐車場等での環境負荷の低減

1 3 5 万円

総務部 / 総務課

東口駐車場隣地側及び駒沢通り側敷地の一部を緑化整備します。

小・中学校での環境負荷の低減

1,076万円

教育委員会 / 学校施設計画課

小・中学校校舎の壁面緑化を進め、さらに、体育館屋根の高反射塗料による塗装により、環境負荷の低減を進め、ヒートアイランド対策を行います。



地球温暖化対策の推進

467万円

環境清掃部 / 環境保全課

平成 19 年度に策定した「目黒区地球温暖化対策地域推進計画」を推進していくため、区民、事業者、地域団体、学校、区など幅広い分野で構成する「目黒区地球温暖化対策地域協議会」を中心に、イベントなど様々な啓発活動を行い、日常生活や事業活動の中で実践できる環境配慮行動を区内全域に広めていきます。

路上喫煙禁止区域指定事業の推進

2,746万円

環境清掃部 / 環境保全課

中目黒駅、自由が丘駅、及び学芸大学駅周辺を路上喫煙禁止区域に指定し、まちの環境美化推進を図ります。

駅頭キャンペーン等の啓発活動により規制内容の周知を図るほか、指定喫煙所の維持管理や、禁止区域内におけるパトロールを実施します。



アスベスト分析調査助成

200万円

環境清掃部 / 環境保全課

個人のかたが区内に所有する住宅（マンションなどの管理組合を含みます）、中小企業事業者のかたが区内に所有する建築物（事務所、工場、店舗、賃貸住宅など）に使用されている吹付け材等（ただし、スレート板や、せっこうボード等の成形板は対象となりません）のアスベスト分析調査（アスベスト含有の有無、飛散等の状況調査）を行う際、住戸1戸あたり10万円、マンションなどの管理組合及び事業用建築物には20万円を限度に、調査費の1/2を助成します。

3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進
（めぐろ買い物ルールのPR）

175万円

環境清掃部 / ごみ減量課

区民と事業者の協力による「めぐろ買い物ルールを広める会」では、ごみを減らす運動「めぐろ買い物ルール」のPRをしながら、ごみを減らすための仕組みを作っていきます。

3Rとは、
発生抑制（リデュース:Reduce）
再使用（リユース:Reuse）
再生利用（リサイクル:Recycle）
の頭文字をとったもの。



ごみの排出実態調査の実施

517万円

環境清掃部 / ごみ減量課

平成19年10月から区内約20%の地域でプラスチックリサイクルのモデル事業を実施しています。このモデル事業の実施前と後のごみの質・量の変化を分析する調査を行います。

3 R (リデュース・リユース・リサイクル) の推進
(プラスチックリサイクルの推進)
(びん・缶・ペットボトルの分別回収事業)

1 億 1, 1 3 0 万円

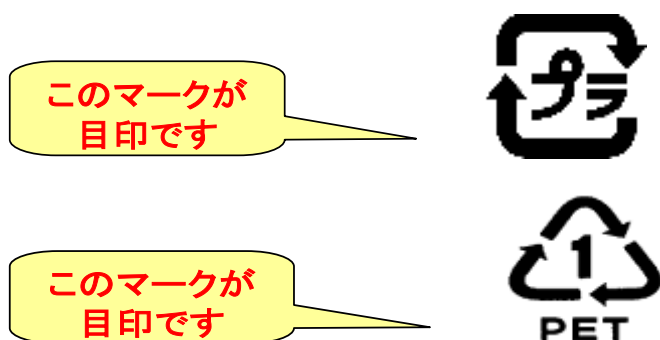
環境清掃部 / ごみ減量課・清掃事務所

モデル事業を終了し、びん・缶・ペットボトル・プラスチック製容器包装(プラマークつきプラ) を分別回収する事業と新可燃ごみ(再資源化が困難なプラスチックごみ)の収集を、平成 20 年 10 月から区内全域で本格実施します。

新たなごみと資源の分け方・出し方が始まります。

本格実施のための P R ・消耗品・準備経費等の詳細は、54 ページ「プラスチックリサイクルの推進」をご覧ください。

プラスチック製容器包装(プラマークつきプラ)やペットボトルをごみ集積所等で回収します。



再資源化が困難なプラスチックごみを、燃やすごみ(可燃ごみ)に変更し、清掃工場で熱回収(サーマルリサイクル)します。

環境学習推進計画事業の実施

3 5 3 万円

環境清掃部 / 環境保全課

昨年度に引き続きモデル事業(生ごみ堆肥化機械借上げ・イベント活動の支援など)、公募事業(区民のアイデアによる取り組みを支援)を実施し、環境学習をより一層推進していきます。



生ごみ堆肥化機械を使った環境学習活動のようす

学校版 ISO プログラムの推進 372万円

教育委員会 / 教育改革推進課

区立小中学校 13 校でプログラムを新たに導入するとともに 19 校で昨年度に引き続き運用し、全区立小中学校の児童生徒及び教職員が一体となって省エネ・省資源活動と環境学習活動に取り組みます。

地域のグリーン化の推進 230万円

環境清掃部 / 環境保全課

地域での環境に配慮した取組みを推進するため、目黒区独自の環境配慮行動プログラムである「めぐろグリーンアクションプログラム」家庭版、事業所版、学校版について、様々な機会を捉えて普及に努めます。

家庭での省エネルギーの推進 179万円

環境清掃部 / 環境保全課

区内在住のかたを対象に、「省エネナビ」を使っていただくモニターを募集します。「省エネナビ」とは、家庭で使う電気の使用量と料金をリアルタイムに表示する機器です。電気料金が表示されるので、実感しやすく、無駄を無くそうという意識を高め、省エネを促進することができます。

重要課題（４）地域特性を生かした目黒らしさのある取組み

広報ビデオのデジタル化 105万円

企画経営部 / 広報課

過去に制作した広報ビデオのデジタル化を行います。

地域ポータルサイトの構築 1,239万円

企画経営部 / 広報課

まちの情報や行政では提供しにくい情報を発信するため、地域情報のポータルサイトを構築します。

観光まちづくりの推進

2,129万円

産業経済部 / 観光・雇用課

にぎわいと活力あるまちの実現を目指し、区内産業の振興を図るため、17年3月に「目黒区観光ビジョン」を策定しました。

観光ビジョンに掲げられた施策を効果的に進めるため、区民、事業者、関係団体から成る「目黒区観光まちづくり推進協議会」が主体となって実施する「地域特性を活かしたリーディングプロジェクト（目黒川さくらフェスタ、自由が丘観光プロジェクトなど）」を支援します。



「目黒川さくらフェスタ」のようす

めぐろボランティア・区民活動センターへの助成

997万円

健康福祉部 / 健康福祉計画課

社会福祉協議会設置のボランティアセンターを移設・拡充するための設置費・運営費を補助します。

中高生の社会参加事業の実施

293万円

子育て支援部 / 子育て支援課

中高生が同世代に向けた目黒区の地域情報誌を編集発行していく過程で、さまざまな人との出会いや物づくりを体験することで、主体性や社会性を育んでいきます。情報誌は中高生が見た目黒の魅力を発信したり、中高生が感じたことや考えたことを活字を通して表現します。

目黒区地域街づくり条例の活動支援

1 2 0 万円

都市整備部 / 都市整備課

区民が主体的に進めていく地域の街づくり活動に対して、専門家の派遣や活動経費の助成をします。

補助 4 6 号線沿道まちづくりの推進

1, 8 9 2 万円

都市整備部 / 都市整備課

補助 46 号線の道路整備と沿道のまちづくりを一体的に進めるため、地区計画や不燃化促進の検討を進め、災害に強いまちづくりを推進します。

「グラウンドワークやまのて」との協働事業

5 5 万円

環境清掃部 / 環境保全課

産官学民の協働により地域課題を研究する場として設立された「グラウンドワークやまのて」に対し、「目黒川周辺地域の魅力の創設と環境整備」に関する公募研究調査を委託するほか、協働講演会を開催します。

めぐろアートウィーク（仮称）の開催

2 2 8 万円

教育委員会 / 企画調整課

区にゆかりのある芸術家の公演や区民が芸術文化活動に参加する事業を、区民・団体、区内の公私立芸術文化施設と連携・協力して実施します。



区内教育機関との連携

4 6 万円

教育委員会 / 企画調整課

生涯学習活動を活性化させるため区内の教育機関と連携の基盤づくりをします。
(講演会や公開講座の実施)

めぐろ歴史資料館の開設

1 億 4 , 2 4 5 万円

教育委員会 / 地域学習課

区民の歴史学習の拠点として、目黒区の歴史がわかり、人びとの暮らしが理解できる「めぐろ歴史資料館」を平成 20 年 9 月中に開館します。



「めぐろ歴史資料館」イメージ